

146高所作業車を起因物とする死傷災害100事例まで（2018年）

No	年	月	発生時	死傷災害事例	年齢	事故の型	小業種	労働者規模
1	2018	1	13 ～ 14	派遣先にて勤務中、除雪作業をするために現場に急いで向かって途中に、車のトランクの扉が開いているのに気付かず、扉にぶつかり頭に3針縫う傷を負っていた。	66	6	11501	10 ～ 29 人
2	2018	2	14 ～ 15	警備業務中警備員用の保安資材（カラーコーン）を追加しようと、高所作業車の荷台に積んであるカラーコーンを取り出そうとしたが、一緒に積まれていた工事用看板に引っ掛かっていて、看板を移動して取り出そうとしたところ、勢いが付き左手がバケット部分に接触負傷した。	60	3	170201	100 ～ 299 人
3	2018	2	11 ～ 12	バケット車で作業中、引込線の移し替えをする際に垂下り、他のバケット車が移動したときに引っ掛け、その引き込み線に引っ掛かり、バケットより転落し骨折した。	34	1	30301	10 ～ 29 人
4	2018	4	15 ～ 16	高所作業車のバケットの中で片付け作業が終わり、降りようとして車の屋根に降りたところ、ふらついてバランスを崩し、そのままだと危ないと思い咄嗟に飛び降り両足を強く打ちかかるとを複雑骨折した。	54	1	30301	1～ 9人
5	2018	5	10 ～ 11	看板屋が高所作業車で電球を取り替えていた。被災者は下で基礎の補強工事をするための段取り作業を行っていて、看板屋がカバーのネジを数本外したところ、カバーが劣化していたため下に落ち被害	55	4	30199	1～ 9人

				者を直撃した。				
6	2018	5	14 ～ 15	工場内にてテント上屋を建築中に高所作業車に乗り込もうと作業車に足を掛けた際、足を踏み外し約1.3mのコンクリートの地面に左腕より転倒し左腕肘の骨折及び靭帯を切った。	51	1	30309	1～ 9人
7	2018	6	14 ～ 15	断熱工事現場で外周壁のウレタン吹き付け作業中、区画された室内から廊下に高所作業車を移動させるため、SD開口をくぐり抜ける際、SD枠上部と高所作業車上部の手すりの間に両手指を挟んだ。	35	7	30201	1～ 9人
8	2018	6	13 ～ 14	被災者は、単独で高所作業車を使用して、ALC版の取り付け作業を行っていた。その際、高所作業車のキャタピラが床段差から跳ね出す位置にあったため、作業床を上昇させて作業したときにバランスを崩して転倒した。	47	1	30201	1～ 9人
9	2018	6	9 ～ 10	高所作業車の操作訓練中、車体とバケットを繋げているラッシングベルトを外し忘れてしまい、ラッシングベルトが切れた衝撃でバケットが跳ね、バケット内にいた被災者が上へ飛ばされ、バケット内に着地したときに膝を負傷した。	24	3	30209	1～ 9人
10	2018	6	10 ～ 11	作業員3名でFRP乾燥機を移設するため配線工事をしていて。高所作業車2台を用いて地上6mにある既存電源ケーブルを引き抜き、約7.5m隣のケーブルフック上に移す際、被災者が高所作業車を運転して工場天井クレーンレフレ形鋼の下を旋回しようとしたとき、I形鋼とバケットの縁に挟まれた。	51	7	30301	1～ 9人
11	2018	7	11 ～ 12	高所作業車（12m）で庇梁部分にネットクランプを取り付け作業中、手が届かなかったため、ブームを伸ばした際に、高所作業車手摺に置いた左腕が鉄骨梁との間に挟まれた。	46	7	30201	10 ～ 29 人
12	2018	8	11 ～ 12	高所作業車にて耐火被覆工事中、高所作業車がバランスを崩し、転倒し負傷した。	41	2	30201	50 ～ 99 人

13	2018	9	18 ～ 19	タイヤ式高所作業車（4.0m）で移動中、車輪部分が段差に当たり乗り越えられなかったため、クローラー式高所作業車（6.0m）で牽引していたとき、牽引されている方の高所作業車がバランスを崩し右側に倒れ込む際、右足を咄嗟に高所作業車の手すりから出して地面についたが転倒した。その際操作盤と地面の間に足を挟み、同時に地面についた右腕も負傷した。	32	2	30201	1～ 9人
14	2018	9	18 ～ 19	タイヤ式高所作業車（4.0m）で移動中、車輪部分が段差に当たり乗り越えられなかったため、クローラー式高所作業車（6.0m）で牽引していたとき、牽引されている方の高所作業車がバランスを崩し右側に倒れ込む際、右足を咄嗟に高所作業車の手すりから出して地面についたが転倒した。その際操作盤と地面の間に足を挟み、同時に地面についた右腕も負傷した。	32	2	30201	1～ 9人
15	2018	9	18 ～ 19	タイヤ式高所作業車（4.0m）で移動中、車輪部分が段差に当たり乗り越えられなかったため、クローラー式高所作業車（6.0m）で牽引していたとき、牽引されている方の高所作業車がバランスを崩し右側に倒れ込む際、右足を咄嗟に高所作業車の手すりから出して地面についたが転倒した。その際操作盤と地面の間に足を挟み、同時に地面についた右腕も負傷した。	32	2	30201	1～ 9人
16	2018	9	18 ～ 19	タイヤ式高所作業車（4.0m）で移動中、車輪部分が段差に当たり乗り越えられなかったため、クローラー式高所作業車（6.0m）で牽引していたとき、牽引されている方の高所作業車がバランスを崩し右側に倒れ込む際、右足を咄嗟に高所作業車の手すりから出して地面についたが転倒した。その際操作盤と地面の間に足を挟み、同時に地面についた右腕も負傷した。	32	2	30201	1～ 9人
17	2018	10	23 ～ 24	高所作業車を使用して塗装作業中、作業車を梁下面まで移動させようとしたところ、操作を誤り、操作盤の防護手摺りと梁の間に右腕を挟んだ。	22	7	30106	10 ～ 29 人

18	2018	12	18 ～ 19	台風被害により3階建普通品倉庫（高さ約24m）東側ケラバが破損したためケラバの交換作業を実施した。高所作業車30mを使用し、屋根上部に上がり、屋根ケラバの取り付けを行い片付け時に、高所作業車で降りようと操作を行ったが、高所作業車が作動しなかったため、被災者が確認のために屋根上に降りたら、高所作業車が動き転落した。	64	1	30201	—
----	------	----	---------------	---	----	---	-------	---

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.html(職場のあんぜんサイト)

参考：[労働災害の分類の概要](#)

[各起因物における死傷災害100事例まで（2018年）](#)に戻る。